



「長宗我部元親」22歳の初陣で本山氏に勝利した後、父の悲願を受け継ぎ、15年で土佐を統一、その後10年をかけて天正13年(1585年)に四国の大部分を平定した。しかし、同年8月には豊臣秀吉の四国征伐の前に降伏し、日伏見で61歳の生涯を閉じる。

長宗我部元親

土佐の戦国武将

一五三九〜一五九九



長宗我部信親

長宗我部盛親

長宗我部元親



1 土佐神社 (国指定重要文化財)
土佐国の総鎮守一ノ宮。社殿は永禄6(1563)年、本山氏が岡豊城を攻撃した際に焼失したが、元亀2(1571)年元親が再建。再建にあたり社殿の形式を「入りとんぼ式」に改めた。若宮八幡宮を出陣の際の戦勝祈願の神社として「出とんぼ式」としたのに対し、土佐神社を凱旋報告の神社とした。

高知市一宮しなね 2-16-1



2 大高坂城跡 (高知城)
南北朝時代、大高坂松王丸がここに城を築いた。天正16(1588)年長宗我部元親がこの地に城を構え岡豊から移ったが、上方への連絡に便利のため、わずか3年で浦戸に移った。その後、山内一豊が大高坂山に高知城を築城。高知城三の丸の発掘調査で見つかった長宗我部期の石垣が現地展示されている。

高知市丸ノ内 1-2-1



3 伝・吉良親実邸跡 (葛岡神社跡)
戸次川の合戦で長男信親を失った元親は、次男、三男をさしおいて四男盛親を跡目にし、信親の娘を盛親の妻とすることを考えていた。元親の甥吉良親実は、従兄弟比江山親興とともに、反対したが、元親は聞き入れず盛親に家督を相続させ、吉良親実と比江山親興は切腹を命じられた。

高知市越前町 2-4-5



4 吸江庵跡 (県指定史跡)
文保2(1318)年、夢窓疎石が構えた庵。のちに夢窓の教えを受けた義堂周信と絶海中津は五山文学の双璧と称され、吸江庵も南海の名刹とうたわれた。細川氏や長宗我部氏の保護も受けていたが、山内一豊は土佐入国後、義子の湘南和尚を住職として中興し、吸江寺と改めた。

高知市吸江 122



5 朝倉城跡 (県指定史跡)
最盛期の本山氏は、ここを本拠として長岡郡北部・土佐郡・吾川郡を制圧し、東は浦戸湾西岸から秦泉寺の線まで、西は仁淀川を超えて高岡郡東部まで、30を超える支城を配した。しかし、長宗我部氏との戦に破れ、永禄5(1562)年の朝倉合戦を境に本山に引き揚げ、その後長宗我部氏の軍門に降った。

高知市朝倉丁 546



6 吉良城跡 (高知市指定史跡)
吉良氏によって15世紀代に築かれた城跡。吉良氏は本山氏に支配されたが、その本山氏も長宗我部氏に滅ぼされ、元親は弟親貞に吉良氏を継がせた。詰は標高111mほどの山上に所在し、南北両嶺から成っており、数段の曲輪や切岸、大規模な堀切や塹壕をかまえるなど、中世の山城としての遺構を残している。

高知市春野町弘岡上 1223



7 吉良神社
吉良親実の切腹後、親実の親族・家臣が殺されたが、のちに後継問題で対立し元親に讒言し親実を切腹に追い込んだ久武内蔵助の妻子8人が変死するなどの怪事が多発し「七人みさき」と呼んで恐れられた。元親も親実らを切腹させたことを後悔し、社を建てその霊をなくさめたと伝えられる。

高知市春野町西分 3521



8 大津天竺城跡
天竺氏の居城であったが、津野氏が攻略後一条氏が支配。一条兼定追放後、元親は中村村に吉良親貞を入れ、兼定の子内政を大津天竺城に移し、自分の娘を娶わせた。これにより、天竺城は「大津御所」と呼ばれた。その後、内政は波川玄蕃の謀反に加担し、追放された。

高知市大津甲 949



9 高知県立歴史民俗資料館 (岡豊城跡)
元親が大高坂城に移るまで長宗我部氏の居城であった岡豊城跡に建つ資料館。平成22年4月に「長宗我部展示室」が新たに設置され、長宗我部氏や国史跡・岡豊城跡に関する資料が展示されている。
tel088-862-2211
時=9:00~17:00 休=12月27日~1月3日 P=あり

南国市岡豊町八幡 1099-1

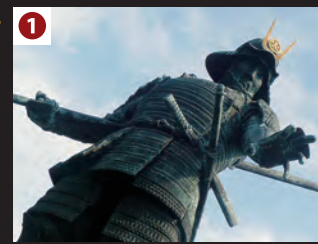


長宗我部元親関連年表	
1539年(天文8年)	長宗我部国親の子として岡豊城に誕生
1560年(永禄3年)	22歳で初陣。国親死後、長宗我部第21代当主となる。
1563年(永禄6年)	石谷氏の子女と婚姻
1565年(永禄8年)	信親、元親の長男として誕生
1575年(天正3年)	土佐を統一
	盛親、元親の四男として誕生
1583年(天正11年)	引田の戦いで仙石秀久を破る。賤ヶ岳の戦いで柴田勝家と組み秀吉と対抗。
1584年(天正12年)	伊子に侵入。小牧・長久手の戦いで徳川家康らと組み秀吉に対抗。
1585年(天正13年)	四国をほぼ統一
	秀吉による四国征伐。
1586年(天正14年)	秀吉の九州征伐に従軍。戸次川の戦いで信親戦死。
1588年(天正16年)	元親、跡継を盛親と定める
1590年(天正18年)	秀吉の小田原征伐に参加
1591年(天正19年)	浦戸城に移る。
1592年(文禄元年)	元親、盛親、朝鮮出兵に参加
1596年(慶長元年)	スペインのサン・フェリペ号浦戸に漂着
1599年(慶長4年)	京都・伏見の邸で死去。盛親、長宗我部第22代当主となる。
1600年(慶長5年)	関ヶ原の戦いで、西軍に与するも敗北。盛親、土佐を没収されて京都に蟄居。
1614年(慶長19年)	盛親、大坂冬の陣に参戦。
1615年(慶長20年)	盛親、大坂夏の陣に参戦。斬首される。

織田信長・豊臣秀吉に対抗した長宗我部氏の軌跡



姫若子から土佐の出来人へ…土佐をおさめ、四国をつかみ、天下をにらんだ「長宗我部元親」の足跡を訪ねる。



長宗我部元親初陣銅像

平成11(1999)年に没後400年を記念して建立された。銅像は22歳で初陣を迎えた元親の姿を表現しており、力強く前に伸ばされた左手は、足下に広がる四国をつかみ取るようにしている形に作られている。

→ 徒歩3分

高知市長浜 6600 若宮八幡宮内



若宮八幡宮

初陣の際、元親が戦勝を祈願したといわれ、以後出陣の際の戦勝祈願の社として崇敬していた。毎年4月上旬には、五穀豊穡・無病息災を祈願し、女性が男性に泥を塗る「どろんこ祭り」が行われている。

→ 徒歩17分

高知市長浜 6600



戸の本古戦場跡

永禄3(1560)年5月、国親が長浜城を奇襲。城主大窪美作守は逃げて本山茂辰に急を告げ、長浜城奪還のため押し寄せた本山勢2千5百と長宗我部勢1千がこの地で対決。「姫若子」と呼ばれていた元親は、この初陣で20騎ばかりの手勢を引き連れて奮戦、勝利し、「土佐の出来人」と呼ばれるようになった。現在は戸の本一公園に「古墳也勿毀(こふんなりこぼつなかれ)」と刻んだ碑があり、当時の戦死者を葬った塚と伝えられている。

→ 徒歩13分

高知市長浜 857-3



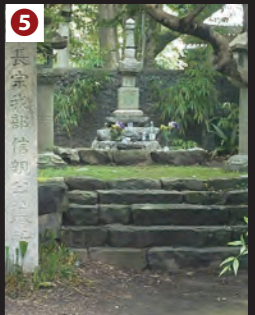
雪隠寺

真言宗高福寺であったが、長宗我部元親の保護を受け、臨濟宗の慶雲寺と寺名を改めた。元親の死後、四男の盛親は父・元親の菩提寺と定め、元親の法号雪隠三にちなみ高福山雪隠寺と改称した。四国八十八ヶ所第33番札所。

↓ 徒歩1分

長宗我部信親墓

元親の長男信親の墓。信親は少年時代から聡明で一族の信望も厚く、特に元親の期待は絶大だった。戸次川の合戦で激戦の末討死。浦戸の天甫寺に葬り供養していたが、長宗我部氏滅亡後、雪隠寺に移されて現代に至ったと伝えられている。



↓ 徒歩2分

戎神社

慶長6(1601)年、抵抗する長宗我部氏の残党に手を焼いていた山内一豊は、戎神社の祭礼の際に行われていた相撲に着目し、国中に触れを出し、相撲好きの一領具足を集め一網打尽にした。主立った者73名はみせしめのため種崎浜に磔にされ、以降抵抗は沈静化した。



高知市浦戸 11 桂浜駐在所そば
↑ 徒歩10分

浦戸城跡(高知市指定史跡)

秀吉から土佐一国の領有を許された後、天正19(1591)年より10年にわたり、浦戸城跡は長宗我部氏の本城となった。城山の東端近くの高所が詰/段で、詰/段東北隅の天守台跡や南東隅の張り出し部分、わずかな塁状地形や堀切、曲輪の一部などが現存している。



高知市浦戸
高知県立坂本龍馬記念館すぐ
↑ 徒歩10分

一領具足の碑・六体地蔵

慶長5(1600)年、長宗我部氏は関ヶ原の戦いで敗北し、山内一豊が入国。旧臣の一領具足たちは浦戸城明け渡しを拒んだが敗れ、273名の首は塩漬けて大坂に送られ、胴体が葬られた塚には石丸神社がたてられた。そばには追善供養のための六体地蔵や土井晩翠の詩碑がある。

高知市浦戸 地蔵前バス停すぐ



サン・フェリペ号漂着事件
慶長元(1596)年、スペイン船サン・フェリペ号(約1,000トン、乗組員233名)が暴風雨に遭遇し浦戸沖に漂着した。長宗我部元親からの報告を受けた秀吉は増田長盛を奉行として派遣し、船内を検閲し船荷のすべての乗組員の所持金を没収して大坂に回送した。秀吉のキリシタン弾圧が強化され、長崎での二十六聖人殉教、さらに徳川幕府による鎖国政策へとつながっていく端緒となる事件であった。



長宗我部元親墓(県指定史跡)

慶長4(1599)年、上洛した元親は、まもなく病に倒れ、伏見の邸で同年5月に61歳で死去した。墓は天甫寺山の南斜面にある。

← 徒歩2分

高知市長浜 6619



愛馬の塚

元親が秀吉から拝領した内記黒の塚と伝えられる。戸次川合戦のとき主従わずか21騎となった元親は、武運もこれまでと馬を捨てて戦い、敵陣に斬り込もうとしていた。そこへ奇跡的に内記黒がかけつけたので、家来は元親を乗せて敵中を突破し、府内に逃れることができたこととされ、内記黒が元親の命を救ったという逸話が残っている。

← 徒歩30分

高知市長浜 5100



長浜城跡

永禄3(1560)年、元親の父国親が種崎城に送った兵糧を本山氏の兵に奪われたため、国親は本山氏の支配下にあった長浜城を奇襲し攻略した。城主は本山茂辰に急を告げ、長浜城奪還のため押し寄せた本山軍と長宗我部軍の戸の本での対決が、元親の初陣となった。

↓ 徒歩10分